

〔研究テーマ②〕「長井紬」の新たな活用方法について

〔11月19日（木）〕

〔調査の背景(着眼点・目的)〕

- ①地域住民が「長井紬」について「見る」、「知る」、「触れる」機会のタイミングが重要
- ②「長井紬」の「端切れ」の利用の仕方や地域住民へのPR

調査先	調査内容
いちまた呉服店 (あら町)	長井紬の販路 着物の傾向
(株) 斎藤織物 (館町)	企業概要 (生産・販路)

結論 「長井紬」の魅力地域住民に伝える行為が必要

- #### 提案
- ①ALL致芳市でのPR (地域住民が集う催し)
(長井紬の着物の魅力・高価さを伝える。)
 - ②ふるさと納税への返礼品に起用

納税額が少額な方

- 小さな反物
- 端切れを利用した小物商品
(問題点)・織元に利益が回りにくい。
・経費(包装、小物の製作費、人件費etc)で赤字の可能性

納税額が多額な方

- 着物として(仕立てまで)
- アレンジ商品(ワンピース、スカートなど)
- 一反ではなく半反

補足：以前長井市では、「ふるさと納税」の返礼品としていた。しかし、返礼品の競争が激化し、納税の3割を超える額の返礼品に規制がかかり、取り扱いを中止した。



学生も試着 (いちまたにて)



斎藤織物でも「端切れ」が発生する

山大学生考案

「端切れ」を活用した商品展開

- ・マスク
- ・スマホカバー
- ・手帳カバー
- ・ぬいぐるみ
- ・ペンケース など



小学生には「ペンケース」などを配布し、小さい頃から「見て、触れる」機会が重要だと思います。

致芳小学校教員アンケート結果

- ①長井市(致芳)の地域の名産や伝統行事等について学校で取り扱ったことがあるか。
 - 3年生・・・総合学習：大豆から豆腐ができる
 - 5年生・・・地域限定栽培の野菜、黒獅子舞の歴史
 - 6年生・・・総合学習：少年少女五十川獅子踊り
 - その他・・・長井の水、梅花藻
- ②長井市(致芳)の地域の名産や伝統行事等について学ぶための、児童向けの資料はあるか。
 - ・受け継がれた文書資料
 - ・ふるさとめぐり致芳(例年3年生使用)
 - ・わたしたちの長井市(副読本)
 - ・動画
- ③児童たちが地域や伝統文化等を学ぶ、または興味を持つために、どのような機会、活動が必要だと思うか。
 - ・「長井紬」を使ったコースターづくり(コミセンと連携)
 - ・少年少女五十川獅子踊り